

岡山繊維産地協議会 検討会議準備委員会 （人材確保のための産地PR検討委員会）

議事要旨

日時：令和 6 年 12 月 23 日（月曜日）17 時 00 分～18 時 00 分

会場：倉敷ファッションセンター 4F ホール（岡山県倉敷市児島駅前 1 丁目 46 番地）

議事要旨：

事務局より開会挨拶、本日の趣旨を説明した。

意見交換をファシリテーター佐藤豪人氏にて行った。

- ・ 目的は良い産地を目指して
やっていることを称賛するよりも、一緒に良い産地を目指してやっていくということを言い続けていく
できていないことをとがめるものではない
できていることを宣言する
そのような制度を作りたい
- ・ 出来ていることを調査したうえで、講評するという事なら無理ではないか
これをします、との宣言も、従業員のほか関係者すべてに波及させることは困難
しかし、調査せずに宣言するなら、参加する価値が無い
- ・ アパレル廃棄 0、については参加可能では。実施がコスト削減にもつながるといえる
- ・ 今回の認証制度は、どこまでの範囲で実施するか？
信用面でも厳格さが求められる
たとえば、B コープなどは、監査のうえ、結果のスコアが発表される
厳しめの基準で、通った企業はしっかりしているといえる
- ・ たとえば、賃上げすることは良いことだが、一方で企業経営的には困難さもある
賃上げの実施には、法人税の軽減措置とのセットであれば実現し易いといえる
- ・ 目的は、繊維産業と地域が盛り上がることである
- ・ 廃棄ゼロは、理論上不可能ではなく、できなくはないといえる。
しかし、現実のものづくりの現場においては、廃棄ゼロは限りなく困難である。
「廃棄ゼロを目指す」ことについては賛同できるが、現実にはそれを実現するのは不可能と考えているが、どうか
そこで、廃棄ゼロを目指す、ということを対外的に示していくことは可能であり、良いことであると考え
- ・ 無駄チェッカーのサービスを利用したい
当社では、現場の担当者は自身の行動を合理的と思い込むところがある。例えばある資材について、単価低減にもつながるため 3 年分を一度に仕入れている。しかし、結果的にはすべて製品となり販売できているので廃棄も無く、良いともいえるが、本来は在庫のリスクや保管場所など総合的に考えたうえで発注すべきと考えている

- ・廃棄ゼロ、はZ世代へのポーズである

そのことが経営の合理化や、人材の確保につながるのならば。

人材確保のためには賃上げが必要、といっても、水島地域の大企業並みの賃上げは不可能である。

- ・賃上げのためには、製品上代を上げる必要がある

- ・賃金よりも、少し観点をずらし、「幸福度」というあいまいな指標で測るのはどうか

- ・例えば、ジーンズストリートは、空き店舗と出店者のマッチングであったといえる

そこで、「廃業を検討している経営者」と「起業したい若い人」をマッチングしてはどうか。そのために、ベテランと若い人材のコミュニケーションの場を増やしては毎日のようにM&Aの話が話題に上っている

それに対して、倉敷ファッションセンターが、「この産地でものづくりしてはどうか」とマッチングしてはどうか

継続することが大切

起業する、ということは自分で予算を作り管理すること

- ・この産地は、一生働ける職場・企業があり、そのような企業が集積した業界である

- ・賃金だけではない、ものづくりに関わっていることの喜びが、重要な観点となるのではないか

待遇面だけではなく、働くことの魅力や喜びが

- ・この業界に携わっている人の「満足度」について、定点観測してはどうか

しかし、アンケートなど調査をすれば、良い結果ばかりではなく、満足度が下がった、というマイナスの結果が出る可能性もあるが

- ・各社、社内で満足度調査等は実施していますか？

- ・内容は少し異なるが、社内で調査は実施している

SDGsについてほか、社内の企画などについて、「知っているか」、「取り組んでいるか」、「少しでも知識があるか」などについて聞いている。加えて、「取り組んでいる場合は、どんなことに取り組んでいるか」など

良い結果を目指して繰り返し啓発し、従業員が取り組み始めれば、結果は次第に向上するだろう。しかし、いつかは天井に到達し飽和状態となるだろう

ついては、産地として宣言をして、取り組めるものもあるのではないか。向上する者もあるのではないか

なお取り組みは、全ての業種で、全社員を対象とすべき。全社の全社員を対象に。

質問項目の案としては、「良い変化を感じていますか？」など

- ・本来はやるべきであると考え。しかしできていない。

- ・当社では、ブランディングの際に実施している。

ミッションステートメントを作るところからしっかり取り組み、聞いている

- ・経営者目線だけではなく、従業員目線もある

従業員にも見えていなければ、不満が出てくる

- ・確かに、従業員に対し「何でも希望を言って」というと、「ＡＴＭが欲しい」や「休みを増やして欲しい」等の突拍子もない意見が出される。

そこで、従業員にも、決算書を読むよう指導している。会社で利益が出れば、その範囲で還元します、と。

- ・従業員に対するアンケートとしては、「この会社が好きですか？」のみとなるのではどうして欲しいか？は聞けない。聞いても応えられない。どうするかは、経営者に任せてもらうしかない。

- ・「子育てし易い」は、結果的に「働きやすい」といえる。

それは、世の中全体のニーズであるといえる

そして、これは児島であれば対応可能ではないか？

賃金ではなく、働きやすさの観点で、他の業種と比較し児島は「ナンバー１」と

- ・そのことに、多くの企業が賛同してくれるかどうか

賛同のほか反対もあるだろう。

しかし、反対の意見に合わせることは無いとしても、「なぜ、そう考えるか」「どこが、反対の原因か」などを知ることが大切と考える

そのことを知って、対応していく必要があるといえる

- ・大手企業には合わせられない。大手には勝てない。

求人の条件についても、賃金か休みか、休日日数を見る人が多い傾向

ものづくりの業界（製造業界）に、ものづくりが嫌いで入っている人は少ないのではないか？

大手企業は、人材の引き抜き合いである。この地域では、企業同士が協力して人材確保に努めるべきといえる。

- ・産地としてのストーリーを伝えることが重要。

そのために、それを伝えるのに必要な数値をまとめることが必要

- ・企業は人が欲しい

産地も人が欲しい

この二つは、同じようで若干異なっている

- ・児島地域は、「賃金より、好きなものがつくれる場所」、「自分の望むライフスタイルが実現できる場所」、「その他」

これらの「共通項」を探したい

ライフスタイル、生き方、働き方、子育てしながら働ける、長く働ける、など

- ・〇廃棄ゼロ

〇生活しやすさ ⇒ 働きやすさ ⇒ 企業が対応すれば可能である
＝ 従業員の幸福度が向上する

- ・「復職率」もキーワードでは？

「副業が可能」も考えられる

- ・この産地は、こういう産地です、を示したい
 - 廃棄ゼロ（環境にやさしい）（持続性がある）
 - （賃金ではない）働きやすさがある（表面的なものではなく、より深いもの）
- ・「働きやすい」は重要である
- ・ライフスタイル、つまり自分の好きなことに携われる環境であることは重要（仮に給料が高くても、好きなことができないのは非常に悲しいといえる）
そうすれば、自主性が生まれる
自主性が無ければ、普段からアイデアは生まれてこない
- ・安定性、も重要
当社では、次々にステップアップを目指すハングリーな人は、当社の社風に合わないと考えている
むしろ、皆と一緒にこつこと取り組み、成長を目指す人が欲しい。もちろん安定だけを追いかけることではないが
- ・キャリアアップしようとする人は、産地に合わないのではないか
そのような人は、入社後数年内に退職する
- ・当社では企画職の採用に際し、入社前に「企画のため、3年間は製造現場で経験し、その後企画職へ移る」ことを伝えて採用している
- ・この様な「宣言」をするに際し、なにか「根拠」になるものは必要か？

ファシリテーター佐藤氏より、発言があった

同じ繊維業界とはいえ、（織や縫製など）様々な業種が混在していることから、「人生に寄り添う」という言葉が考えられる

これは、社員数が多く、定年制などルールを厳格に運用しなければならない上場企業では、難しいこと。

この言葉に合う、この言葉を根拠づける内容のアンケートを実施すればよいのでは？

今後のスケジュールは、来年の11月に予定されている全体会議までを目指して、検討会議としてメンバーを増やし、実施内容の取りまとめに取り組んではどうか

- ・アンケートでは、
「意識」＋「(自分が) 取り組んでいること」
「(会社で) 取り組んではどうかと思うこと」
などを聞いてはどうか。全社の全従業員を対象として

【まとめ】今回は11／14岡山繊維産地協議会全体会議での公開ディスカッション、事業計画発表を終え、参加者からの反応・評価を参考に、検討会議立ち上げのための取組内容に

ついて、より具体的な議論ができた。次回 3 月末を目途に一旦計画を固めたいということが確認された。

以上

お問い合わせ先

岡山県産業労働部産業振興課地域産業班

電話：086-226-7352 FAX：086-224-2165

<https://www.pref.okayama.jp/soshiki43/>

一般社団法人倉敷ファッションセンター

電話：086-474-6800 FAX：086-474-6801

<https://www.k-fc.com/>